



福祉だより

高田校区民生児童委員協議会
高田校区社会福祉協議会
文責 中村 正人
第27号 令和5年4月15日

民生委員児童委員活動を振り返って

下徳丸 潤 芳包



平成19年に厚生労働大臣から委嘱され15年の任期を終えました。近年コロナ禍で大変な日々を送っていますが、校区の皆さん方のお支えにより、無事任期を終える事が出来ました事に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

民生委員は地域福祉の担い手として尽くしていますが、少子高齢化(高田校区の高齢化率:28.2%)、ひきこもりや子どもの貧困など民生委員が気を配る対象は複雑化しています。地域の皆さんにお願いしていますように「遠い親戚よりも近くの他人」「自助・共助(互助)・公助の中で ☆共助が重要☆」で日頃からのお隣、近所の方とのお付き合いや助け合いが大切だと思います。困りごとや何か気になる事があれば、お近くの民生委員に連絡して頂き、民生委員が東陽地域包括支援センター、市社協、行政等関係先に繋ぎ問題解決に努めます。

皆さん方と「高田に住んで良かったなあ～」と云える校区を目指しましょう。私も微力ではありますが協力させていただきます。

おめでとうございます

令和4年11月に受賞しました

永年勤続単位民児協会長 表彰
潤 芳包

令和4年5月
大分県公安委員会会長 表彰
工藤 巖

地区の交通安全を

見守り20年

開園の軸丸隆満さん

昭和十三年十月二日生まれ(83歳)



津久見市出身で九石に勤務されてきました。平成15年に交通安全協会大分東支部高田分会に入り翌年副会長を経て、平成20年に会長になり今日に到りました。

役目としては会長、副会

長、会員20名と一緒に手分けして、朝の登校する子ども達を交通事故の無い様に見守って来られました。毎月1日と20日は、交通安全の日です。地区の3ヶ所に分かれて、のぼりを持って、車に注意喚起しながら、子ども達を交通事故に遭わない様に見守って来られました。若宮様の春季例大祭では、神輿、山車、獅子舞、子供山車が巡行する朝から夕方まで多くの人達を交通事故のない様に交通指導されて来られました。小さな子ども達も急に飛び出すことが多いので特に気を使われてきたとおっしゃっていました。

来年3月までの任期を終えるまでは、しっかり交通安全を願って見守りに励みたいとおっしゃっていました。趣味であるゴルフは、月に2回、また自宅横の畑には、旬の野菜を奥様と一緒に作られています。これからも益々お元気で活躍されますように！

おじやましましす

シリーズ [25]

